

農産品・食品の認証制度

タイ産食品が世界の消費者たちにとって安全性と安心感を確保するためには、栽培過程から最終製品まで、サプライチェーン全体で食品を管理し、モニタリングする必要がある。国際規格を遵守しながら貿易相手国に受け入れてもらうために、認証機関（CB）及び検査機関（IB）は、生産者と製造者の認証に重要な役割を果たしている。ACFSは、農産品・食品のCB / IB認定担当の機関であり、現在、ISO / IEC 17011: 2004（適合性評価機関を認定する認定機関の一般要件）の規格に基づいて活動している。

生産管理システムの認定には、農業生産工程管理（Good Agricultural Practice; GAP）、（Good Manufacturing Practices; GMP）、危害要因分析必須管理点（Hazard Analysis and Critical Control Point; HACCP）及び有機農業（ORGANIC）などの規格の基準要件を満たす管理システムと製品の評価が必要である。

規格認証マーク（Q マーク） 規格認証マークは2種類ある。



1) 任意規格のための認証マーク



2) 強制規格のための認証マーク

共に、省令で規定するものとする。

認証マークの申請は、強制規格あるいは任意規格のいずれかの認証の受領者となる生産者、輸出業者、輸入業のみが行える。

強制規格に規定された農産品の生産者、輸出業者、輸入業者は、生産現場や税関から搬出に先立ち、規格マークの提示が求められる。

タイのトレセラビリティシステム

- 新技術の到来でタイの農業界が新しい時代に入った。技術はあらゆる面で生活の一部となり、農産物の生産から消費までの全ての段階に溶け込んでいる。
- 現在、タイでは農産品食品規格基準局（ACFS）によって開発されたタイのトレセラビリティシステム「QRトレース」は、指一本で簡単に農産品の生産情報を生産チェーン全体にわたって追跡することができる。
- QRトレースにより、野菜、果物、米、畜産物、卵、水産物、食品および加工食品を含むあらゆる種類の農産品を対象とするトレセラビリティが実行できる。
- QRトレースシステムに登録される農産品は、農業生産工程管理（GAP）、適正製造基準（GMP）、あるいは有機農業基準（Organic）などの生産過程の安全基準を認証される必要がある。
- QRトレースは、農場または農家が獲得した認証情報を収集しデータベースを作成し、QRコードで簡単にデータベースにリンクすることができる。消費者は、製品のQRコードをスキャンし、製品情報がすばやく読み取れ生産者・生産過程など情報の追跡が簡単にできる。



世界の技術がどれほど速く進化しても、タイは生産と流通すべての段階の情報が追跡できるようになるために、リスクを特定しリスクを管理するために、そして農場からテーブルまで消費者の健康と安全を守るために、Qトレースシステムの開発を進めていく。

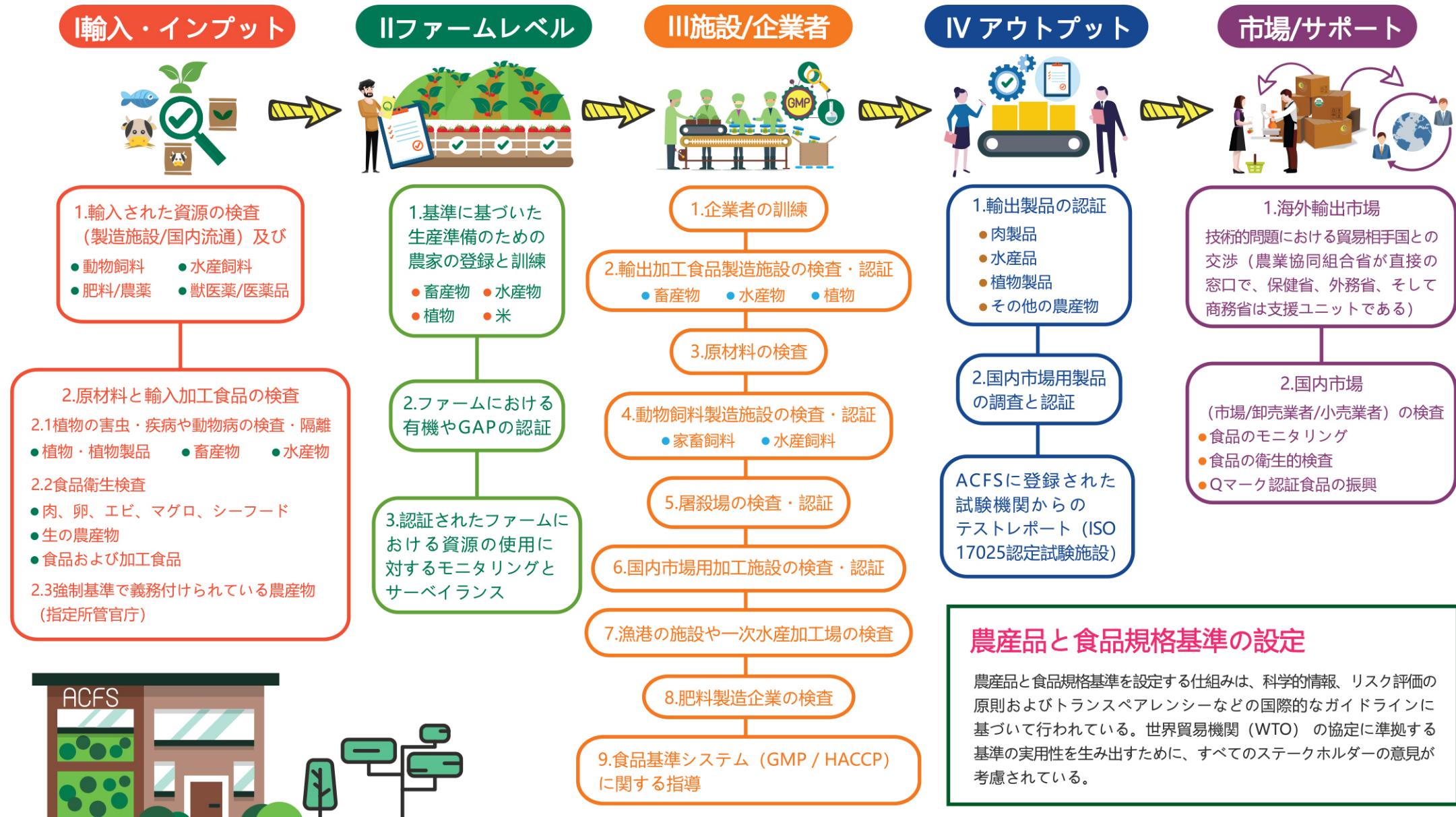
タイの食品安全システム

タイ農業協同組合省農産・食品規格基準局（ACFS）によるタイの食品安全システム





タイの食品安全システム



← ACFS

- ▶ 農産品と食品規格基準の設定。
- ▶ 最終食品・企業者の検査をはじめ、輸入食品の検査や農場認証制度におけるトレーサビリティシステムの導入。
- ▶ 農業協同組合省内部機関、そして学術機関や大学などの外部機関におけるコーディネーターの役割を務め、農産物や食糧のリスク分析を行っている。